

1	審議会名	上田市介護保険運営協議会
2	日時	平成29年12月22日 午後1時15分から午後2時10分まで
3	会場	上田市役所本庁舎6階大会議室
4	出席者	佐藤委員、太田委員、小林委員、越田委員、橋詰委員、今委員、寺島委員、武捨委員、田中委員、山浦委員、齊藤委員、関委員
5	市側出席者	近藤福祉部長、酒井高齢者介護課長、小川地域包括ケア推進係長、斎藤高齢者支援担当係長、橋詰介護保険担当係長、小須田介護保険担当係長、上田高齢者支援担当係長、下城高齢者支援担当係長、和田介護保険担当
6	公開・非公開等の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7	傍聴者	2人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成29年12月26日

協議事項等

- 1 開会（高齢者介護課長）
- 2 あいさつ
- 3 協議事項（佐藤会長の進行）
  - (1) 第7期上田市高齢者福祉総合計画策定について
    - ・ 計画（素案）に係る意見募集の結果について
  - (2) 条例改正（平成30年4月1日改正）について
- 4 閉会（高齢者介護課長）

審議概要

- (1) 第7期上田市高齢者福祉総合計画策定について
- (委員) 意見募集で出た介護人材の確保は、7期計画から市町村の人材確保の取り組みを任意記載できるとなっています。具体的な目標を定めて人材確保を推進するというのは、必要な介護人材の数値目標を試算することを求めていると思います。一歩進んだ取り組みを計画書に入れていただくか、難しければ来期に向けて数値を出せば、人材確保が大切になっているという状況が分かると思います。
- (事務局) この意見は、「まずサービス事業者と集まって、協議して目標を定めてもらいたい。」というような内容でした。そのため、具体的な目標は現段階で私どものほうで立てられるのかどうかは協議してみないと分からない状況です。それと委員がおっしゃった上田市でどれぐらい人材が不足しているのかについてははっきりしたデータはないのですが、事業者の皆さんと話し合いをしながら、数字を共有していければなと思っております。
- (委員) 素案の単位老人クラブ数というのが99になっていますけど、これは市の補助金の申請クラブ数で、実態としましては105クラブ数があります。各連合会や社協など全ての数字がこの105という数字で扱っているものですから、この素案の中でも105という数字でもって統一していった方がいいと考えています。なお32年度目標ですけど、クラブ数100という1クラ

ブということですね。上田、真田、丸子、武石とある中で、連合会の努力目標としても、市の行政指導としても1クラブというのは、いかにも努力のない数字だと思ひまして、私としては、少なくとも各地域1クラブとしても3年間で最低4か5の増と設定していった方が、形としてもよいのではないと思ひます。会員数も、全国100万人の会員増加運動と、そこから長野県では2万人増やそうという計画で、各市町村の連合会としては1.04倍という目標を立てているわけですね。現在の会員数からいうと240～250人増と大変な数になりますので、各クラブ20～30人として120～130人増の見込みを立てた方がいいと思ひます。ご検討いただければと思ひます。

(事務局) 数字については確認しないと分かりませんが、おそらく委員指摘のように、補助を交付しているところしか把握できませんので、そういう数字かと思ひます。今のご意見を踏まえまして、数字については訂正させていただきたいと思ひます。

(会長) 他になければ、協議事項1は承認ということによろしいでしょうか。

(2) 条例改正(平成30年4月1日改正)について  
資料に沿って説明。内容承認。